■屋根施設エンゼルランドと連続する形

■夜景　多様な素材の外壁と空を反射するシルバーの屋根

# いと勢保育園

福井県坂井市に建つ保育園。敷地は、子供達の遊び場として人気の施設であるエンゼルランドの向かいにある。エンゼルランドは仙田満の設計により、曲面や躍動感が形になったような外観が特徴的な施設である。この恵まれた敷地環境で保育園を設計するにあたり、以下の３点に主題をおき取り組んだ。

1. 保育園というビルディングタイプの特徴を活かす
2. 日常の風景の延長にある景色
3. 差異を肯定的に捉える

■ 1. 保育園というビルディングタイプの特徴を活かす

・保育園という施設には丸みに特徴がある。丸みには親しみやすさや可愛らしさもあるが、角が取れているので身体的に安全であることが大きい。
・多彩な色彩を使うことで、色彩の幅を教え、色の認識による言語教育の一貫もあるだろう。
・腰壁や木製品を用いる内装には、木製の温かみや柔らかさや安心感がある。
・指詰防止や建具への施錠など、子供を管理する施設特有の視点がある。

■ 2. 日常の風景の延長にある景色

・郊外の風景にある ALC やサイディングの目地、ガルバリウム鋼板の目地、タイル貼り、アルミサッシのある景色。
・北陸地方特有の鉛色の空とスカイラインが同化する素材。
・天井を抑えたガラスのらんまから連続する照明の連続性。
・鉛色の空から差し込む光がパステルカラーに反射する空間。
・エンゼルランドの曲線と連続するような外観。

■ 3. 差異を肯定的に捉える

・多種多様な子供達が育つ場所として、設計の選択を肯定的に行うことを心がけた。それは、外壁の ALC を塗り分けた外観にも示されている。
・タイルや RC 打放しの外壁の素材を多様に使い素材に優先順位をつけない。
・敷地南側の墓地を隠さずに庇の水平性を強調することで、墓地の小さな垂直性との連続性をとる。
・内装材の腰壁の高さを変えて、連続性の中に違いをつくり、単純に割り切らない計画とした。

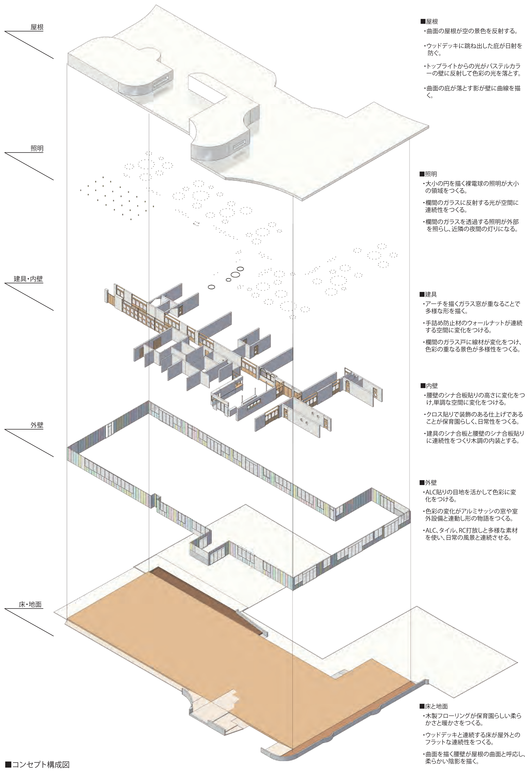
以上のことにより、この建築でこれから育っていく子供達が北陸の鉛色の空を自分達に固有の風景として肯定的に捉え、健やかに育っていくことを願っている。

■付近鳥瞰図

■照明　大小の円を描く電球の照明が、欄間のガラスに反射して連続する風景をつくる

■建具　手詰め防止材にウォールナットを使用。色と柔らかさとモノ作りを活かしてつくる

■収納棚スペース　三角の垂れ壁が家のような場所をつくる




■コンセプト構成図

■玄関ホール　緩やかな曲線の天井が光を柔らかく反射する

■絵本コーナー　絵本で円形に囲まれたベンチにトップライトからの光が落ちる

■廊下　トップライトからの光がパステルカラーの壁に反射する